

東京大学先端科学技術研究センター 特任助教（特定有期雇用教職員） 募集要項

1. 職名及び人数：特任助教 1名
2. 契約期間：令和3年12月1日以降出来るだけ早い時期～令和4年3月31日
3. 更新の有無：更新する場合があります。更新する場合は、年度ごとに行う。
更新は、予算の状況、従事している業務の進捗状況、契約期間満了時の業務量、勤務成績、勤務態度、健康状況等を考慮のうえ判断する。ただし、更新回数は3回、在職できる期間は令和7年3月31日を限度とする
4. 試用期間：採用された日から6月間
5. 就業場所：先端科学技術研究センター（東京都目黒区駒場4-6-1）
6. 所属：先端科学技術研究センター 当事者研究分野 熊谷研究室 ※業務の都合により変更することがある。
7. 業務内容：1980年代に起きた統合失調症領域における当事者主導の様々な変革（当事者研究、リカバリー運動、ヒアリングボイシズ運動）や、1990年代に起きた発達障害領域における当事者主導の様々な変革（当事者研究、神経多様性運動）では、非定型な知覚や認知、行動のレパトリー（幻覚、妄想、感覚過敏、常同行動など）を、取り除くべき無意味な症状ではなく、個人的、社会的、文化的に意味のある人類の経験様式とみなし、それらをなくすことではなく、その意味やつきあい方を、同様の経験をもつ仲間と共に探求し、それに対する社会のスティグマを除去することが本人にとってのリカバリーをもたらすという共通点があった。JST CREST「知覚と感情を媒介する認知フィーリングの原理解明」では、知覚体験をどのくらい知っているのか（熟知感）、それが確からしいのか（確信感）、どのくらい現実味があるのか（現実感）、そして流暢に処理ができるのか（処理可能感）など、知覚が生成される情報処理過程に向けられた情動的な感覚のことを認知フィーリング（cognitive feeling）と定義し、たとえ錯覚や幻覚・妄想と呼ばれる非定型な知覚体験の内容が変化しないとしても、上記のような当事者主導の実践を通じた認知フィーリングの変化が、当事者の生きやすさにつながっているのではないかという仮説を立て、それを検証する。具体的には、障害当事者との共同創造のフレームワークのもとで、当事者研究を経験したことのある統合失調症や発達障害の当事者を対象とした、「当事者研究を通じた認知フィーリングの変化」を調べるインタビュー調査を設計し、質的分析によって認知フィーリングの現象学的な理論を導き、論文や学会などで成果報告を行う。
8. 就業時間：専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分勤務したものとみなされる。
9. 休日：土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
10. 休暇：年次有給休暇、特別休暇 等
11. 賃金等：年俸制を適用し、業績・成果手当を含め月額35万円～45万円程度（資格、能力、経験等に応じて決定する）、通勤手当（原則55,000円まで）
12. 加入保険：文部科学省共済組合、雇用保険に加入
13. 応募資格：1）博士以上の学位を有する者又はこれと同等以上の業績を有する者
2）インタビュー調査や質的データ分析に関する十分な知識と経験を有する者
3）障害のある研究者と共同しつつ研究の共同創造を実施する意欲のある者
14. 提出書類：1）東京大学統一履歴書（以下のURLからダウンロードし作成すること。）
<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>
2）教育研究業績書 1通
15. 提出方法：件名を「応募書類（特任助教・質的データ分析）」とし、上記書類の電子ファイルを添付して、以下のメールアドレスに送付すること。
ohsato@bfp.rcast.u-tokyo.ac.jp（担当：大里）
※2～3日以内に当方から受信確認メールが届かない場合はお問い合わせ下さい。
16. 応募締切：令和3年10月15日（金）必着 書類選考の上、合格者に対し面接を実施。
17. お問い合わせ先：〒153-8904 東京都目黒区駒場4-6-1
東京大学先端科学技術研究センター 当事者研究分野 熊谷研究室 担当：大里

TEL: 03-5452-5063 e-mail: ohsato@bfp.rcast.u-tokyo.ac.jp

18. 募集者名称 : 国立大学法人東京大学

19. その他 : 取得した個人情報は、本人事選考以外の目的には利用しません。

「東京大学男女共同参画加速のための宣言（2009.3.3）」に基づき、女性の積極的な応募を歓迎します。